



「ざっくりイメージで把握する

最新騎手ファイル 2022」

presented by KAZ@競馬はビジネスである



## ～はじめに～

まず騎手を理解する上において重要なのは、その騎手がどんな位置をとる傾向があって、どのようなスタイルの騎乗をするか。今回このファイルを作るにおいて、それぞれの騎手のキャラクターを一目でわかるように色分けしました。

### 【徹底先行タイプ】

とにかく位置をとって前々で競馬をすることが多い騎手。

### 【ふんわり自在タイプ】

先行も差しも自在で好位競馬が多い。ふんわりと乗って馬の末脚を引き出す。

### 【ガシガシ自在タイプ】

先行も差しも自在で好位競馬が多い。ガシガシとパワーで馬を動かす。

### 【ふんわり差しタイプ】

基本的に位置は取らず後ろから。ふんわりと乗って馬の末脚を引き出す。

### 【ガシガシ差しタイプ】

基本的に位置は取らず後ろから。ガシガシとパワーで馬を動かす。

### 【我が道を行く個性派タイプ】

ざっくりとキャラに当てはめるのが難しい我が身を行く個性派。

### 【信頼度低い騎手】

位置取りやキャラ云々よりも前提としての技術が足りないので信頼度が低い。

### 【絶対に買ってはいけない騎手】

とにかく騎乗技術が下手なので、馬が良くても基本的に買えない。

## 【外国人騎手】

# デイビッド イーガン

一言キャラ	スタート上手く前に行って折り合えるのが最大の強み。
解説	来日直後のインタビューで「スタートを出ていいポジションを馬に用意できるのが自分の強みだと思う。」とコメントしていた通りで積極的な競馬が売り。とはいえ、風の影響を考慮する外国人騎手らしくあんまり逃げは好まないイメージで、逃げ馬の直後の2、3番手で溜めて抜け出す競馬が多い。基本技術がしっかりしている上に前に行けるのでいずれ重賞は勝つだろう。

## 【外国人騎手】

# クリスチャン デムーロ

一言キャラ	完全にジャパンナイズドされたパーフェクトな自在タイプ。
解説	以前はどこか物足りないミルコの弟というイメージの騎手だったが、ヨーロッパで揉まれに揉まれたことで世界ナンバーワン級の騎手に成長。技術の向上もそうだが、完全に日本競馬に馴染んだようで芝もダートも先行競馬も差し競馬もなんでも完璧にこなしてくる。基本的に能力が足りる馬なら持ってきてしまうイメージでいい。

## 【外国人騎手】

# ハリー ドイル

一言キャラ	旦那マーカンドと同じくとにかく追える。
解説	2022年の来日期间では2勝のみだったが、その勝利数以上に乗れる騎手という印象。女性騎手だがとにかく追えるのが特徴で、旦那のトムマーカンドほどではないがズブい馬を動かせる。

## 【外国人騎手】

# トム マーカンド

一言キャラ	とにかく追える世界最高峰のガンガシタイプ。
解説	基本的な技術が高いのはもちろんだが、この騎手の最大の特徴は位置を取って追えること。どんなレースでも勝負になる位置を取りに行きますし、最後までしっかりと追ってくれる。日本人騎手では動かせない馬を腕で持つてくることが多く、一方でふんわり乗るべき馬には合わない。

## 【外国人騎手】

# ライアン ムーア

一言キャラ	タイトに立ち回ってしっかり追える世界最高峰の剛腕オールラウンダー。
解説	もう来日回数も多くなってきて日本競馬も完全に熟知。しっかりと位置を取って、なおかつ折り合って追えるオールラウンダーで、基本的に外を回さずにタイトに立ち回るのがセールスポイント。

## 【外国人騎手】

# バウシルザン ムルザバエフ

一言キャラ	とにかく位置を取りに行く世界最強の徹底先行タイプ
解説	2022年冬に初来日となったが、早々にホープフルSを制していきなりインパクトを残した。とにかくどんな馬でも位置を取りに行く徹底先行タイプで、この騎手が乗る時は位置取りが全く変わると考えていい。芝よりもダートの方がズブい大型馬を前々で動かせるので期待値は高いか。芝ならドゥラエレーデのようなパワータイプの先行馬でこそ。まだ乗ったことはないが東京コースが合うイメージはない。

## 【外国人騎手】

# ダミアン レーン

一言キャラ	自在性を身につけてジャパンナイズドされた若き天才。
解説	最初の来日時は積極性が目立つ騎手だったが、来日回数が増えてきて日本の競馬で完全に順応してきた印象。2022年のマイルCSではセリフォスで溜めに溜めて末脚を引き出しましたし、ステイヤーズSのようにインをタイトに突く競馬も自由自在。それでいて平場では以前のように位置を取って勝てる競馬をしてくれますし、基本的に弱点はほぼない。自在性を身につけてはきたが、外国人騎手なのでふわっと溜めて乗る馬よりも動かして良さが出るタイプの方がいい。そんなこともあって非根幹距離の宝塚記念では圧倒的な成績を誇る。

## 【2022年 騎手リーディング 1位】

### 川田 将雅

一言キャラ	現代日本競馬のスパルタ大王。平場、阪神、2歳戦では最強だがGIでは期待値落ちる。
解説	とにかく先行意識が強くてどんなレースでも好位付けしてガシガシ追ってくる。位置が取れるので平場で人気馬に乗った時は安定して走って来ますし、あんまり溜めて末脚を活かす騎乗が要求されない阪神コース、特に阪神芝2000mと阪神芝1400mは圧巻の成績。  脚を溜めずに早めに仕掛けてしまうスタイルと、2歳戦に強い早熟タイプが多い中内田厩舎の馬に乗ることが多いので古馬GIでは人気通りに走っていない。平場や阪神、2歳戦ではある程度仕方ないと割り切って、GIでは早仕掛けリスクを考えて評価を落とすべき。

## 【2022年 騎手リーディング 2位】

### 戸崎 圭太

一言キャラ	オーソドックス騎乗で弱点は少ないが強みもあまりないタイプ。
解説	ミスターオーソドックス。とにかく弱点がないが一方でこれといった強みもない。地方出身なのでそれなりに追えますし、JRAも長いのでしっかり溜めることもできる。勝利数も非常に多いが、GIの裏開催で荒稼ぎをしていることが多く大レースでの期待値はそこまで高くない。

## 【2022年 騎手リーディング 3位】

### 横山 武史

一言キャラ	スタート上手く先行意識が非常に強い若大将。大レースでは少し期待値が落ちるかも。
解説	独自のスタート理論がありそうで、ゲート内で馬を無理矢理に前に出すような感じでスタートを決めることが多い。札幌競馬場でブレイクしたこともあってスタートを決めて前付けする競馬がスタンダード。溜めて良い馬よりも動かして良い馬が合うタイプだろう。  2021年はエフフォーリア、タイトルホルダー、キラアビリティでGI5勝をあげたが、エフフォーリアは強すぎた感じでタイトルホルダーは逃げ切り勝ち。キラアビリティも2歳戦だから早めに立ち回って押し切れた感じで、本質的にGIが合うタイプの騎手ではなさそう。川田騎手や松山騎手のようにGIで少し評価を落とした方がいいかもしれない。

## 【2022年 騎手リーディング4位】

### 松山 弘平

一言キャラ	スパルタ先行策でこそ騎手で芝の大レースでは期待値が低い。
解説	初のGI勝ちアルアインの皐月賞で早めに動いて押し切り勝ち。基本的に前に行って早めに動いてしまう騎手で、そういう競馬でも大丈夫な下級条件では信頼度が高い。特にダート短距離戦は前に行ってこそなので松山騎手が得意としている条件。一方で仕掛けを待って末脚を活かさないといけない条件ではさっぱりダメで、直線の長い芝コースやGIレースでは信頼できない。

## 【2022年 騎手リーディング5位】

### クリストフ ルメール

一言キャラ	位置を取って折り合えるのが最大の強み。馬やレースによって位置を変える。
解説	勝負になる位置を取った上で折り合える点が最大の強み。平場レースでは人気にこたえるためとにかく前付けするが、アーモンドアイやイクイノックスのように能力に絶対的な自信があるときはどっしり構えて末脚を活かす。新馬戦で素質馬と感じている馬では無理に先行しないで溜めますし、あまり素質を感じていない馬では積極策で押し切りを狙う。ルメールがどう乗るかで馬の将来性はわかる。  騎手の力でなんとかなる条件(=長距離戦など)ではルメールというだけで来てしまうことが多い。弱点が少ない騎手だが、跳ぶパターンはとにかく平場で前に行くのでハイペースに巻き込まれる展開。あとは騎手の力でどうしようもないダートの短距離戦が相対的に苦手。

## 【2022年 騎手リーディング6位】

### 岩田 望来

一言キャラ	父譲りのパワフルな追いとイン突きが魅力のホープ。
解説	藤原厩舎所属でデビュー当時から英才教育。それに加えて岩田康誠騎手の御子息ということもあって、父からの教えが大きいのか父に似た騎乗スタイルになっている。しっかり追える点も魅力ですし、インを突いてロスなく進めてくる。馬場バイアスが外伸びでもインを突くことが多い点は少し不安。

## 【2022年 騎手リーディング7位】

### 福永 祐一

一言キャラ	スタートセンスと総合力に優れた努力の鬼。
解説	父親とずっと比較され続けてきたが、40代にして一気に花開いて父親と肩を並べる存在に。スタートセンスが抜群でどんなレースでも良い位置を取れるのが売り。2023年の2月で引退となるので勇姿を観れるのもあと少し。

## 【2022年 騎手リーディング8位】

### 坂井 瑠星

一言キャラ	川田騎手の背中を追いかける徹底先行タイプのホープ。
解説	デビュー当時は自在タイプの行儀が良い印象の騎手だったが、2021年後半あたりから一気に先行色が強まった。今ではJRA騎手の中でも最も先行意識が強い騎手で、普段は後ろから進めている馬でもこの騎手が乗った途端に先行策になる。2022年はGIを2勝して一気に若手の有望株としてのポールポジションを確保。ちょうど川田騎手がブレイクし始めた頃に似ている感じで、川田騎手のような先行スバルタタイプの騎手になりそう。

## 【2022年 騎手リーディング9位】

### 吉田 隼人

一言キャラ	平場では好位ガッチリの横綱競馬、重賞だと若干位置を落とす。
解説	ソツがないオーソドックス騎手だが基本的には脚を溜める。以前は消極的な印象も強かったが、ソダシに出会ってから前に行く重要性も理解した印象。平場では勝負になる位置を取ってきている。一方で重賞ではソダシ以外でそこまで位置を取るイメージはない。

## 【2022年 騎手リーディング 10 位】

### 鮫島 克駿

一言キャラ	次代の日本競馬を担うイン差し王子。
解説	デビュー当時からふんわり溜めて差す競馬が売りだったが、近年は前に行く積極性も身について総合力が格段に上昇。とにかくロスなくインを突くのが特徴で、外枠を引いてもどこかでインに入れてロスなく競馬ができる。総合力が高い上に一発も狙えるタイプの騎手で、インタビューなどを見ても全レースのパトロールを見て研究熱心。福永騎手の引退後の日本競馬を引っ張るのはこの騎手か。

## 【2022年 騎手リーディング 11 位】

### 武 豊

一言キャラ	差しのディーブインパクト、逃げのサイレンスズカのイメージで。
解説	デビュー当時からずっとスター騎手だったために能力上位の馬に乗り続けてきた。そんな馬の末脚を活かす騎乗が絶品で、サンデーサイレンス系の末脚を引き出す溜める騎乗が絶品。自身も騎乗していたディーブインパクトの系統の馬に乗って相性が良い。  かといって溜める騎乗だけの騎手ではなく、サイレンスズカのような馬で絶妙なラップを刻む逃げも代名詞。武豊騎手が逃げるとスローでもハイでもない絶妙なペースになりがち。

## 【2022年 騎手リーディング 11 位】

### 横山 和生

一言キャラ	横山家の中でも屈指のスパルタタイプ。捲りの鬼。
解説	タイトルホルダーのイメージが強いが、あんまりスタートが上手い感じもないですし極端な先行タイプではない。ただ、強気にスパルタに仕掛けることが多く、外枠から無理矢理に位置を取ったり途中で捲りを仕掛けたりすることが多い。クラッシャータイプなので小回りコースではレースを壊すこと多々。

## 【2022年 騎手リーディング 13位】

### ミルコ デムーロ

一言キャラ	調子が騎乗に影響するイタリアン。今は狙えるタイミングがかなり狭い。
解説	スタートが下手で基本的に出遅れる。今までの戦法などまるで無視して自分のリズムで乗る。それが良いバイオリズムの時は無双となるが、バイオリズムが悪いとただ人気馬をぶっ飛ばすだけ。出遅れてリズム重視で外を捲り気味に仕掛けることが多いので、外が伸びる馬場の時が狙い目。悪いことばかり書いたが基本的な馬乗り技術は素晴らしいので、マイネル軍団のデムーロ乗り替わりの成績は圧巻。感覚で乗っているように見えるが誰よりも競馬新聞を熟読して作戦を立てている。

## 【2022年 騎手リーディング 13位】

### 西村 淳也

一言キャラ	現役騎手でも屈指の徹底先行マン。
解説	平場でも重賞でもとにかく先行することで活躍している騎手で、これまでの重賞2勝はギベオン、ベレヌスでどちらも逃げてのもの。とにかく前に行ってくれるので期待値が高い騎手だが、溜める競馬でも結果を出していくことが課題ではあるか。

## 【2022年 騎手リーディング 13位】

### 菅原 明良

一言キャラ	近年で急成長を遂げた総合自在タイプ。更なる成長に期待。
解説	以前は前に行く積極性を売りにする騎手で、下級条件で先行力を活かしてこそそのイメージだったが、2021年に東京新聞杯をカラテで勝利したことで関係者の評価が急上昇。春の新潟リーディングを取れたのを見ても、長い直線で溜めて差す競馬での信頼度も上がってきた。現在は先行差しどちらも行ける自在タイプで2023年は更なる活躍に期待。

## 【2022年 騎手リーディング 13位】

### 田辺 裕信

一言キャラ	マイペースで泰然自若。逃げも追い込みも意外性あり。
解説	我が道を行くマイペース騎手。逃げるときは競り合うことも気にせず、追い込むときは届かなくても涼しい顔。追い込む時はかなり外を回して大外一気を狙うことが多く、どんな戦法を取るにしても馬場バイアスや展開に大きく左右されるタイプ。

## 【2022年 騎手リーディング 17位】

### 丹内 祐次

一言キャラ	以前はダメ騎手だったが最近急上昇。前付けできて乗れる騎手に。
解説	以前はマイネル軍団のサブ騎手で、前に行ける分だけ柴田大知騎手よりはマシという感じだったが、2022年に急上昇。前に行けているような競馬のパターンができるようになり、普通に乗れる騎手になってきました。騎手の努力もあると思いますが、岡田総帥が逝去されて柴田大知騎手へのこだわりが少なくなったことで丹内騎手の馬質が上がってきた可能性もあります。

## 【2022年 騎手リーディング 18位】

### 幸 英明

一言キャラ	ほぼ全レースに乗っているタフネスだが騎乗ぶりは戦略性がなくて雑。
解説	騎乗数が話題に上がるようにフィジカルが強い騎手。ダート競馬の成績が良いことでもわかるように積極的な競馬からガシガシあきらめずに追ってくれる。あんまり戦略性はなさそうで、とにかく前に行くか途中で動く競馬が信条。東京大賞典のサンライズホープのような早捲りで失速パターンもある騎手だ。

## 【2022年 騎手リーディング 19位】

### 三浦 皇成

一言キャラ	戦略性のなさがネックだったが最近では改善気味。再浮上もありそう。
解説	スタートは上手いがそこからの戦略性に欠けるタイプ。そのスタートの上手さが活かせるダート短距離では良い成績を取られていたが、それ以外のレースでダメだったせいで伸び悩んでいた。最近ではそれなりに自在に乗れるようになってきており、比較的信用できる騎手になってきた感じ。

## 【2022年 騎手リーディング 20位】

### 藤岡 康太

一言キャラ	馬の気持ちに任せた自在タイプ。最近上昇中。
解説	とにかく馬の気持ちに任せた騎乗をしてくる。溜めた方がいい馬ならとにかく溜めるし、スピードある馬ならスッと逃げる。道中余計なことをしないのが吉と出るか凶と出るか。大型馬の成績は良くなくズブい馬は基本的にダメ。捲りを選択する割合も高い。最近積極的な騎乗やイン突きが多くなってきた印象で人気にならない騎手の中では狙える印象。

## 【2022年 騎手リーディング 20位】

### 今村 聖奈

一言キャラ	強気で追える期待の女性ホープだが、定量戦でのガチンコ勝負に課題あり。
解説	新人騎手ながら減量を活かしての積極策だけでなく、溜めて差す競馬や途中で動く競馬でも勝っている。いきなり女性騎手の年間勝利記録を更新したように素質は高そうだが、ローカルでは勝っても中央場所になるとさっぱりになりますし、平場の減量恩恵がある時とオープンの定量戦でのレース内容差がありすぎる。現状はローカルの相手関係や軽量の恩恵を多分に受けているので、今後はそういう恩恵なしにどこまでやれるようになるかが大事。

## 【2022年 騎手リーディング 20 位】

### 池添 謙一

一言キャラ	大レースに強い強心臓。ふわっと溜めて脚を引き出せるから大レース向き。
解説	平場のレースでは強気に位置を取ることもあるが、大レースになるとあえてワンテンポ構えて乗って末脚を引き出せる特殊能力あり。他の騎手が焦って早めに仕掛けてしまう中で仕掛けを待てるので大レースを勝ち切ることができるんだろう。

## 【2022年 騎手リーディング 23 位】

### 菱田 裕二

一言キャラ	戦法は自在だが戦略性あってよく考えて乗っているタイプ。
解説	強気に先行することもあればじっくり溜めることもあり、レースごとにきっちりと戦略を立てて乗っているタイプか。2020年の函館スプリントステークスで大外枠からダイメイフジで逃げて2着に走ったり、その時の馬場や展開を考えて最善の競馬をしてくる。小回りコースでは捲ることも多い。

## 【2022年 騎手リーディング 24 位】

### 和田 竜二

一言キャラ	位置を取ってとにかく追えるだけ追ってくれるガッツの塊。
解説	なかなかノーザンファーム生産の良血には乗らないが、地味な馬でもどうやれば勝てるかということ全力で実行してくれる騎手。とにかく前に行ってくれますし、タイトにインを通過してロスのない競馬をしてくれます。直線も限界まで追ってくれるので馬券購入者にとって好感度が高い騎手です。

## 【2022年 騎手リーディング 25 位】

### 藤岡 佑介

一言キャラ	自在キャラだが消極的。花開くかに見えた三十代も最近は迷走気味。
解説	若い頃から何かと勝負弱さが目立って批判されることが多かったが、三十代に入る頃に成績上昇。そろそろGI2勝目も近いかと思いましたが、ジャックドールというお手馬も手に入れて飛躍するかというところで再び迷走気味。2022年の秋は平場でも重賞でも雑な騎乗や無気力騎乗が多くなっていますし、なんだか本人もどこに進めばいいのか迷っているんじゃないかという感じも。基本的に今のこの騎手は人気馬で信頼できません。

## 【2022年 騎手リーディング 26 位】

### 岩田 康誠

一言キャラ	円熟期に入って再び開花。上手くて追えてイン突き勝負もできる。
解説	一時はノーザンファームに干されてから不調期もあったが、もともとの騎乗技術や園田競馬で鍛えたパワー、そして代名詞のイン突きにも見える勝負強さで再ブレイク中。直線部分での力強い追い方が目立つが、道中は力づくでガッチリ抑えて折り合いもつけられる騎手で、他の騎手で制御できなかった馬が岩田に替わって一変というパターンが増えてきている。今の騎手の中でもトップクラスに買える騎手だろう。

## 【2022年 騎手リーディング 27 位】

### 浜中 俊

一言キャラ	ある程度溜めて末脚を引き出してこそ。内枠良いが勝負弱い。
解説	メイショウハリオやソウルラッシュのような馬をじっくり溜めて末脚を引き出すのが上手い騎手で、過去にはリーディングを取ったりダービーを勝っているだけあって基本技術は上位だろう。2022年の重賞結果を見てもボッケリーニやハヤヤッコ、ナムラクレアなど内枠を上手く活かしての好走が目立つ。一方でスプリンターズSのナムラクレアや東京大賞典のメイショウハリオのように大舞台でポカをやらかす勝負弱さも目立ってしまっている。

## 【2022年 騎手リーディング 28位】

### 角田 大和

一言キャラ	努力でパワーとスタミナをつけて上昇気配。
解説	デビュー年の夏までは苦戦が目立ったが、本人の努力（相当に走り込んでいるらしい）もあって成績は上昇。若手騎手の割に積極策にこだわるわけではなく戦法自在。ズブいダート馬も動かせるタイプで今後も期待したい。

## 【2022年 騎手リーディング 29位】

### 富田 暁

一言キャラ	ズブい馬でも追えるタイプ。課題は重賞での勝負度胸。
解説	オセアニアに遠征していたこともあってズブい馬を動かすのが得意。ダートで追って良い馬に乗って好成績で2022年もなかなかの結果を出したが、これまで重賞でほとんど結果を出せていないので今後はそのあたりが課題。

## 【2022年 騎手リーディング 29位】

### 津村 明秀

一言キャラ	先行捲りクラッシャータイプに変貌中。
解説	以前はふわっと乗る自在系の騎手だったが、最近はこれまでのイメージとは違う先行捲りクラッシャータイプに変貌中。かなり強気に先行することも増えてきましたし、小回りコースでびっくりするぐらい早いタイミングで捲ることも。レースを壊すことが多くなっているため、津村騎手がいるレースは展開読みが重要。

## 【2022年 騎手リーディング 31 位】

### 横山 典弘

一言キャラ	騎乗技術は世界クラスだが、非常にクセが強く取扱説明書が必要。
解説	<p>イングリディエールの天皇賞勝ちを筆頭に記憶に残る騎乗が強い天才。騎乗技術はおそらく世界トップクラスなはずだが、非常にクセが強いのでしっかりと騎乗パターンを理解することが必要。</p> <p>感覚で乗っている天才肌と思われがちだが、しっかりと競馬新聞を熟読している分析家で、先行馬が少なくスローになると読むと追い込み馬でも勢いをつけて逃げを狙ってくる。</p> <p>基本的にテン乗り時には馬のリズム重視の競馬になり、スタートが速い馬なら好位で常識的な競馬をしてくるがスタート遅い馬だと後方ポツン騎乗になることも。後方ポツンをやったとしても継続で何回か乗って使える脚を把握するとどこかのタイミングで勝負を賭けてくる。</p>

## 【2022年 騎手リーディング 31 位】

### 松若 風磨

一言キャラ	ベビーフェイスながら大胆不敵なパワフル決め打ち型。
解説	見た目の割に騎乗は非常にパワフルで派手。先行馬の場合は譲らない気合いを見せて行きますし、追い込み馬の場合は腹をくくって大外一気を決めてくる。とにかく逃げると決めたら譲らないので、見え見えの逃げ馬でも確実に逃げられる。

## 【2022年 騎手リーディング 31 位】

### 角田 大河

一言キャラ	差し競馬もできるが現状は積極策。将来性は有望か。
解説	デビュー日に2連勝を成し遂げたが今村騎手の活躍で少し注目度は下がった感じ。新人騎手らしく積極的な競馬が売りではあるが、早い時期から溜める競馬でも活躍しており、徐々に騎手キャラが変わっていきそう。2023年中には騎手カラーが青から茶色ぐらいになるかも。

## 【2022年 騎手リーディング 31 位】

### 石橋 脩

一言キャラ	レースをぶっ壊す恐怖の先行クラッシャー。
解説	若い頃から先行意欲が強かったが、当時よりもクラッシャー気質が強くなってきている。かなり強気に位置を取って追ってくるので先行馬の数が多いとレースを壊すことも。

## 【2022年 騎手リーディング 35 位】

### 斎藤 新

一言キャラ	スタートが上手くリズム重視の総合タイプ。
解説	スタートが上手い。中長距離が上手くリズム重視の騎乗で、こういうタイプの騎手は長い目で見て活躍していきやすい。世代上位のドゥーラという馬に出会えたので2023年は勝負の年になりそう。

## 【2022年 騎手リーディング 35 位】

### 石川 裕紀人

一言キャラ	ライアンムーアを目標とする剛腕先行タイプ。
解説	デビュー当時からムーアを目標と公言しており、しっかり追える剛腕はムーアに通じるところも。理想はもう少し溜める競馬なんだろうが、現実的な部分から積極策で活躍の場を見出している感じ。これもチャンピオンズカップを制したことで少しずつ戦法が変わっていくかも。

## 【2022年 騎手リーディング 37 位】

### 横山 琉人

一言キャラ	一周回って先行策が減少気味。
解説	デビュー当時は鳴かず飛ばずで途中で怪我の離脱もあり。デビュー年の下半期は積極的な競馬が目立つようになってそれなりに勝ち星を伸ばしたが、現在は余裕も出てきて自在タイプになってきている。

## 【2022年 騎手リーディング 39 位】

### 松本 大輝

一言キャラ	一周回って先行策が減少気味。
解説	175cm と長身。デビュー当時はスタートが上手いというコメントに反してスタートが下手で不調。徐々にスタートが改善されたこととてにかく積極的な騎乗を見せて好走できるように。最近では少し余裕が出てきたのか前に行く競馬が減少気味。

## 【2022年 騎手リーディング 41 位】

### 団野 大成

一言キャラ	末脚引き出し型だったが徐々に総合自在型に変貌中。
解説	デビュー当時から末脚を引き出す競馬が目立っていたが、それだけではダメだと悟ったか最近では位置を取る競馬も目立ってきている。どうも福永騎手にアドバイスを受けてスタートや位置取りを改善してきている感じで、今後は総合自在型の騎手として成長していきそう。

## 【2022年 騎手リーディング 41 位】

### 永野 猛蔵

一言キャラ	末脚を引き出せて追える総合タイプ。最終レースの鬼。
解説	所属が伊藤圭厩舎ということもあってデビュー当時からダート馬に乗ることが多く、ダートシェアが高い。新人ながら積極策に固執せずに戦法自在。ダートでも溜めてしっかり追って最後は伸びてくる。最終レースに強いことが知られているが、それはダート戦でメインレース後でペースが速くなりやすいのが要因か。課題は芝のレースだったが、2021年末の中山でルークスヘリオスやコーストラインで素晴らしい騎乗を披露。もう芝も全く問題ないはずで、あとは特別レースや重賞で存在感を出していきたい。

## 【2022年 騎手リーディング 43 位】

### 小沢 大仁

一言キャラ	若手では屈指の追えるパワータイプ。
解説	自身がインタビューの中で並んだ馬に負けたくないと言っている通りでとにかく追えるパワータイプ。タフなダート中距離戦で最も良さが出る感じで、2022年は阪神ダート2000mで複勝率5割超えの素晴らしい成績。そういう条件でこそ生きる騎手だろう。

## 【2022年 騎手リーディング 44 位】

### 大野 拓弥

一言キャラ	じっくり溜めて末脚を引き出す差し馬マイスター。
解説	GI 初勝利をあげたスノードラゴンの脚質が騎手イメージそのまま、じっくり溜めて末脚を引き出す差し馬マイスター。2022年もタイムトゥヘヴンやフィアスプライドなど後方大外一気で大穴を開けた。差しが決まるレースでは要注意。

## 【2022年 騎手リーディング 45 位】

### 荻野 極

一言キャラ	一皮剥けた感じがある先行自在タイプ。
解説	少し伸び悩んでいた感じがあったが、2022年はジャンダルムでスプリンターズSを制覇。そのジャンダルムやカイザーミノルのような自在タイプをうまく乗りこなしている感じがあり、一皮剥けたことで2023年は期待できるかも。

## 【2022年 騎手リーディング 46 位】

### 木幡 巧也

一言キャラ	先行して追えるパワータイプ。
解説	先行して諦めずに追いつけてスタミナでもたせるスタイル。実際に重賞勝ちもミライヘノツバサやローズプリンスダムといったスタミナタイプ。大型馬を動かすのは上手いが繊細な馬は微妙。突発逃げに注意。

## 【2022年 騎手リーディング 47 位】

### 内田 博幸

一言キャラ	折り合い気にせずパワーで動かす極端なフィジカルタイプ。
解説	大型馬を無理やりに動かす極端なフィジカル特化型。かつてはその豪腕で折り合いもつけられていたが、今は怪我の影響と衰えでそれはできなくなっている。スタートがあんまり上手くなく、そこから力づくでガシガシ追うので小柄な馬やリズム重視の馬は厳しい。ほとんどの条件で成績が落ちているが、ガシガシ追ってなんとかなる東京ダート 2100m はいまだに成績が良い。全体的に見ても明らかに短距離より長距離向き。道悪馬場は大得意としている。

## 【2022年 騎手リーディング 47 位】

### 丸山 元気

一言キャラ	上手さというよりは前に行って勢いでなんとかする。
解説	若い頃から積極策を売りにしている騎手で、あんまり騎乗技術を上手いと思ったことはないが前に行けるぶんで恵まれることも多い。器用さがそこまであるわけではないので、とにかく前に行った方が良いレースで狙い目。

## 【2022年 騎手リーディング 49 位】

### 菊沢 一樹

一言キャラ	差しのアーティストタイプから総合自在型に変貌中。
解説	若手騎手にしては溜めて差す競馬を得意にしていたが、2022年の騎乗ぶりを見ても以前よりは位置を取りに行く先行競馬が目立ち始めた。やはり位置をとらなければダメと感じ始めているかも。今後は総合自在型になっていくか。

## 【2022年 騎手リーディング 49 位】

### 永島 まなみ

一言キャラ	減量を活かした先行力だけでなく、追えるパワーも魅力の若手の期待株。
解説	デビュー当時は馬質が悪くてなかなか結果が出なかったが、根っからの負けず嫌いで相当な努力をしたようで2年目で筋力アップで成績が急上昇。女性騎手の減量を活かしての先行競馬での好走もあるが、馬群の中で溜めて差す競馬もできますし、タフなダートでズブい馬を動かせるパワーもある。JRAの女性騎手の中では圧倒的に乗れる騎手ですし、未来が最も明るいかな。

## 【2022年 騎手リーディング 51 位】

### 秋山 稔樹

一言キャラ	戦法自在なクラッシャー捲りタイプ。
解説	差す競馬も先行する競馬も満遍ない感じだが、普通の騎手より捲るケースが多い印象。途中で強気に動いてレースを壊すことも多く、クラッシャータイプとして覚えておきたい。

## 【2022年 騎手リーディング 51 位】

### 秋山 真一郎

一言キャラ	才能はあるがやる気がない。出たなりふんわりの後方待機のアーティスト。
解説	カレンブラックヒルの活躍により一時はメジャー騎手になるかと思われたが、どうもそこから上昇はせず今の地位をずっとキープ。騎手としての才能や能力は高いタイプだと思うが、やる気や向上心がないのかガツガツしておらず常に出たなりの競馬がスタンダード。出たなりでふんわり乗るので馬の末脚はしっかり溜まることが多く、それで差し込めるレースならという感じ。

## 【2022年 騎手リーディング 53位】

### 吉田 豊

一言キャラ	個性の強い徹底決め打ちタイプ。逃げると決めたら絶対に逃げる。
解説	あまり型にハマらない個性派だがレース前から戦法を決め打ちして実行するイメージ。サンカルロのように後方から追い込みを決め打ちすることもありますし、パンサラッサのように逃げの決め打ちも良くあります。2022年のグレートフルSのタガノフィナーレの騎乗を見ても、逃げると決めたら絶対に引かずにやり切るのが特徴。

## 【2022年 騎手リーディング 53位】

### 古川 吉洋

一言キャラ	THE 地味なキャラだが水準レベルの技術あってまずまず追える。
解説	風貌からして地味でなかなか知名度もない騎手だが、ローカルで若手の中に入れて水準レベルの技術があってまずまず追える。2021年のマイラーズカップでは急遽の代打騎乗でケイデンスコールを勝たせましたし、地味なキャラではあるがまずまずできる騎手だろう。

## 【2022年 騎手リーディング 55位】

### 勝浦 正樹

一言キャラ	ニシノデイジーで外を回して差し届かないイメージそのまま。
解説	かなりのベテラン騎手だが若い頃から積極的なイメージがほとんどない。近年はニシノデイジーという馬に出会うことができたが、この馬でも外を回して差し届かないレースが多かった。そのイメージそのままに後方待機で外を回すタイプです。

## 【2022年 騎手リーディング 57位】

### 小林 脩斗

一言キャラ	軽量の先行策が好走パターンの全て。これ以上はなさそう。
解説	馬券圏内の好走は減量を活かして先行しての粘り込みが全て。差しタイプではほとんど活躍できておらず、こういう騎手は減量が取れた途端にさっぱりダメになる。なかなか厳しい未来が待っていそう。

## 【2022年 騎手リーディング 60位】

### 原 優介

一言キャラ	末脚引き出せる自在型。目下成長中。
解説	トーセンメラニーの騎乗を見ても下手なイメージが強かったが、最近は徐々に成長してきている感じ。ウインエアフォルクの差し切り勝ちなどを見ても引き出しは増えてきており、基本的には末脚を引き出せる自在型か。もう少し信頼度が出てくれば買える騎手になる。

## 【2022年 騎手リーディング 60位】

### 泉谷 楓真

一言キャラ	基本は差し引き出しタイプ。徐々に総合力高いタイプになりそう。
解説	もともと差し脚を引き出してこそのタイプで、2022年初頭に「今年は位置を取りに行く競馬を」と豊富に挙げていたが、それでもそこまで積極タイプにはなっていない。向上意識はありそうなので徐々に総合力高いタイプになるか。

## 【2022年 騎手リーディング 60位】

### 北村 友一

一言キャラ	ふんわり差しタイプから末脚引き出せる自在型に。完全復活が待たれる。
解説	以前はふわっと溜めて差すタイプだったが、ノーザンファームから目をつけられてクロノジェネシスなど一線級の馬で経験を積んだことで末脚引き出せる自在型に変貌。いよいよ最高峰のトップジョッキーになれるか、というタイミングで大怪我をしまい、復帰してからはまだ後遺症で真価を発揮できていない。2023年は完全復活が待たれる。

## 【2022年 騎手リーディング 60位】

### 松岡 正海

一言キャラ	職人氣質で先行意欲が強いウインの主戦騎手。
解説	若い頃はマイネル軍団の主戦でとにかく積極策で良さを見せていた。最近は大怪我をしたことで馬に乗れることそのものを楽しんでいる感じで、勝利数こそ少ないがひとつの馬を調教から作り上げて良くしている印象。腕はまだまだ衰えておらず、十分に買える騎手だろう。

## 【2022年 騎手リーディング 60 位】

### 武藤 雅

一言キャラ	戦法自在でそこそこ追える。きっかけ次第でブレイクも。
解説	武藤調教師の息子ということもあり、デビュー当時から馬質はまずまず。ラインカーナで早々に重賞を勝つこともできましたし、良い馬に早いうちから乗れている分で経験も積めているか。戦法は自在タイプでそこそこ追える。同期が横山武史だけに物足りなくも見えるが、モリアーナあたりで飛躍のきっかけを掴めばブレイクも。

## 【2022年 騎手リーディング 60 位】

### 野中 悠太郎

一言キャラ	自分で馬を作ってクセ馬で穴を開ける「穴太郎」。
解説	馬乗りが好きと公言している騎手で、性格的に問題があるクセ馬を調教からしっかりと鍛えてレースで穴を開けることが多い。穴太郎の異名通りに穴を開けることが多く、知名度よりも騎乗技術はあると見ていい。

## 【2022年 騎手リーディング 66 位】

### 小林 稜大

一言キャラ	若手には珍しく差し競馬で輝く。素質はありそうなのできっかけ次第。
解説	デビュー当時は積極的な競馬が目立っていたが、最近はおっぱら差し競馬がメイン。2022年のヤングジョッキーズシリーズで3連勝したように素質はありそうで、きっかけ次第で化ける可能性もあるだろう。

## 【2022年 騎手リーディング 67 位】

### 柴田 大知

一言キャラ	向上心なく追い方もヘナヘナ。買ってはいけない騎手の代表格。
解説	2022年は夏から勝利なし。マイネル軍団の主戦騎手としてそこそこ馬質も良いのに全く勝てておらず、もう単純に基礎技術が下手すぎるんだろう。この騎手が乗っているうちはダメでも乗り替わった途端に結果を出すことが多く、柴田大知リターンには常に注意。発言だけは威勢が良いが基本的に向上心はなさそうで追い方もヘナヘナ。よほど妙味がある馬じゃないと買わない方がいい。

## 【2022年 騎手リーディング 67 位】

### 酒井 学

一言キャラ	ロスなく運んで大穴を演出。平場よりもハンデ重賞でこそ。
解説	このクラスの騎手にしては溜めてロスなく運ぶ印象で、一線級の能力ある馬の末脚を引き出せるタイプ。なかなか別定重賞では馬質が微妙で活躍できないが、ハンデ重賞で他に乗れる騎手がない時に素質馬に乗って大穴を開ける。

## 【2022年 騎手リーディング 67 位】

### 杉原 誠人

一言キャラ	ふわっと溜めて差すタイプ。キャラはそのままビリーバー。
解説	ミルフアームの主戦騎手。どちらかというスピードタイプが多い馬主だが、それでもほとんど逃げることはなく、ふわっと溜めて差す競馬が多い。ちょうどアイビスサマーダッシュを勝ったビリーバーのような騎乗が真骨頂で、ああいうふわっと差しの騎手とイメージしておきたい。

## 【2022年 騎手リーディング 67 位】

### 国分 恭介

一言キャラ	逃げるか控えるかの決め打ち騎乗目立つ。
解説	最近ではダートでの決め打ち騎乗が目立つ。もともとは積極的。決め打ちで逃げるか控えるか決めるパターンが多いか。

## 【2022年 騎手リーディング 71 位】

### 丸田 恭介

一言キャラ	地味ではあるが後方待機で末脚を引き出すスペシャリスト。
解説	積極的なスタイルではないが、後方で溜めて末脚を引き出すスペシャリスト。その真骨頂で2022年の象徴と言えるのがナランフレグでのGI制覇で、騎手キャラとしてもああいうナランフレグのような馬でこそという感じ。

## 【2022年 騎手リーディング 71 位】

### 松田 大作

一言キャラ	自在タイプで追える騎手。素質は素晴らしいが実に勿体無い。
解説	基本的な騎乗技術があってスワーヴアラミスを動かせたようにパワーもある。騎乗スタイルも自在型で柔軟性がありますし、メジャーな一流騎手として活躍していた可能性も。大事な時に飲酒運転で謹慎処分になったりと残念な部分が多く、そうしたものの積み重ねで近年は騎乗機会が減ってきている。

## 【2022年 騎手リーディング 71 位】

### 国分 優作

一言キャラ	西のマイネル軍団主戦も信頼度は東と同等。それなりに追える。
解説	マイネル軍団の馬が関西に遠征する時の主戦騎手として扱い。東の柴田大知騎手よりは若干マシだがそれでも信頼度は同等。柴田大知騎手と違ってそれなりに追えるのでダートは良い。

## 【2022年 騎手リーディング 75 位】

### 古川 奈穂

一言キャラ	JRA の全騎手の中でも技術と体力は最底辺。
解説	矢作厩舎所属という凄まじいバックアップがありながらさっぱりの成績。もともとの騎乗技術が下手というものもあるが、1年目に肩を手術した後に中途半端に復帰したことで体力的な問題もありそう。全く馬を御せていないレースが多いのでこの騎手が降りた途端に活躍する馬が多い。

## 【2022年 騎手リーディング 75 位】

### 西塚 洸二

一言キャラ	新人にしては戦法自在。馬質向上で飛躍もあるか。
解説	新人騎手の1年目にしては差す競馬での活躍が目立っており、基本的な騎乗技術は悪くなさそう。鹿戸厩舎所属でバックアップには困らないので2年目での飛躍はあるかも。

## 【2022年 騎手リーディング 79 位】

### 亀田 温心

一言キャラ	戦法自在で2021年に飛躍も2022年は停滞。
解説	逃げ率は12%でかなり高いが、一方で後方の競馬を選択する可能性も高い。年々逃げの精度も上がってきている。2021年はレイハリアやアイコンテラーで結果を残したことで関係者の評価も上昇。ジャガードの1勝クラスなどを見ても技術は上がってきていそうだが、前に行く馬のほうが期待値は高い。2022年は一転して9勝止まりでスランプ気味で、2023年が勝負の年になりそう。

## 【2022年 騎手リーディング 79 位】

### 北村 宏司

一言キャラ	オーソドックスなスタイル。近年はマイナー騎手に転落気味。
解説	積極的でも消極的でもないオーソドックスなスタイルで、藤沢厩舎の全盛期にお抱え騎手として重賞GIでも活躍。ただ、怪我での長期離脱と藤沢厩舎の解散が重なってここ最近では馬質が明らかに下がってきている。極端に衰えたわけではないが、重賞で活躍する姿も減ってきている。

## 【2022年 騎手リーディング 79 位】

### 川須 栄彦

一言キャラ	上手さはないが前にいる。クラッシャー先行タイプ。
解説	小牧騎手のコラムでスタートが上手い騎手で真っ先に名前が挙がっていた。そのスタートの上手さを活かして積極的な競馬が売りで、クラッシャー気味に先行することが多い。2022年の北九州記念のボンボヤージのような芸術的騎乗は例外に近い。

## 【2022年 騎手リーディング 79 位】

### 佐々木 大輔

一言キャラ	馬質の割には頑張っている。2年目で成績を一気に上げる可能性も。
解説	新人騎手の中ではそこまで馬質が高くなく、それでいて1年目で12勝はまずまずの成績。12月のブルーゲートに乗ったレースを見ても水準レベルの技術はありそうで、2年目で馬質が改善すると上昇してくるかも。

## 【2022年 騎手リーディング 86 位】

### 田中 勝春

一言キャラ	出たなりで位置を落として4着タイプ。下手ではないんだろが馬群を捌けない。
解説	GI 勝利実績もあるベテラン騎手だが、とにかく昔からファンに下手というイメージを持たれている感じ。基本的に出たなりの競馬なので後ろからになりやすく、なおかつ馬群を捌けずに外を回すので4着が多い。そういう競馬でも大丈夫な馬なら信頼してもいい。

## 【2022年 騎手リーディング 86 位】

### 藤懸 貴志

一言キャラ	逃げ、追い込みを決め打ちで狙ってくる。
解説	戦法は自在タイプだが、とにかく極端な戦法をとってくるのが特徴。おそらくゲートに入る前から「逃げる」「追い込む」と決めて乗っている感じで、それがハマった時は派手な競馬で勝ったりもする。福永騎手からスタートのアドバイスをもらったようで、最近は逃げる競馬が多くなってきている。

## 【2022年 騎手リーディング 86 位】

### 江田 照男

一言キャラ	数年に1回の超大波乱は例外。基本的には地味な消極的タイプ。
解説	数年に1回恐ろしいほどの大波乱を演出する騎手。ネコパンチのように大逃げを打って穴を出すこともあるので積極的な騎手に見られがちだが、基本的にはあんまり位置は取りにいかずで消極的な騎乗が多い。

## 【2022年 騎手リーディング 86 位】

### 黛 弘人

一言キャラ	騎乗技術やセンスは低い。後方で構えて差す競馬がハマるかどうか。
解説	以前は先行競馬も目立っていたが近年はめっきり消極的な差しタイプに。ブルーノジュネスの一連の騎乗などを見ても騎乗技術やセンスは低く、なかなか積極的に買えるタイプではない。

## 【2022年 騎手リーディング 86 位】

### 藤田 菜七子

一言キャラ	馬群は怖くて逃げるしかない特攻娘。
解説	落馬事故の影響で馬群の中での競馬を極端に怖がる場所があり、控えて差すタイプの馬の成績は絶望的。もう関係者の中でもその評価は確立したようで、減量を活かしての逃げを期待されての騎乗依頼しか来なくなってきている。強気な性格で逃げると決めたら逃げるので、特攻先行策でハイペースを演出することも多い。基本的には平坦のローカル1200mしか買えない。

## 【2022年 騎手リーディング 93 位】

### 鷺津 虎太

一言キャラ	馬質は悪くないだけにもっとやれていいはず。現状は買えない騎手。
解説	神戸新聞杯で2着に走れたヤマニンゼストにデビュー当時から乗せてもらっていたり、厩舎のバックアップは受けて馬質は悪くないはず。それだけにもう少しやれて良い感じはあり、それこそヤマニンゼストが武豊騎手に乗り替わって激変したように馬乗りの技術はまだまだ。

## 【2022年 騎手リーディング 94 位】

### 柴山 雄一

一言キャラ	消極的でセンスも微妙。ダート短距離の成績はとにかく最悪。
解説	JRA に移籍直後はノーザンファームに重用されていたが、徐々にバレてきた感じで近年は干され気味。調教師から先行指示が出なければ前には行かない消極的タイプで、そんな先行意識の低さからダート短距離の成績が最悪。飛騨 S でのショウナンアレスの敗因をわからないの一言ですっくと片付けているのを見ても、あんまり競馬の研究をしたりセンスが高いタイプではないか。

## 【2022年 騎手リーディング 94 位】

### 高倉 稜

一言キャラ	差しキャラから先行キャラに転換中。現在はダートで前に行って活躍中。
解説	以前は本当に消極的な差しキャラだったが、近年は明らかに先行意識が強くなってきている。ポルックス S でのエイコーンでの驚きの先行策なんて以前のこの騎手では考えられなかった。今はダートで前に行って活躍するイメージの方が強い。

## 【2022年 騎手リーディング 94 位】

### 長岡 貞仁

一言キャラ	非常に地味なキャラ。経済コースを通ることが多い。
解説	2020 年はアールスターでの小倉記念勝ちで飛躍が期待されたが、それ以外の平場レースの成績がさっぱりでアピールに失敗。地味なキャラではあるが、アールスターでの騎乗やエピローグの騎乗などを見てもこのクラスの騎手にしてはインの経済コースを通ることが多い。

## 【2022年 騎手リーディング 94 位】

### 山田 敬仁

一言キャラ	距離誤認でキャリア狂う。若くしてすでに展開待ちの待機策タイプに。
解説	デビュー年に新潟ダート2500mで距離を間違える大失態。そのトラウマというわけではないだろうが、謹慎から復帰後は極端に控える競馬が多くなってきている。やはり距離誤認でキャリアは狂った感じで、すでにこの年齢にして展開待ちの待機策タイプに。パワーがあって荒れ馬場やダート向きだがよほどハマらないと。武士沢騎手のようになっていきそう。

## 【2022年 騎手リーディング 94 位】

### 水口 優也

一言キャラ	技術よりも先行力で勝負するタイプ。
解説	芝の短距離戦やダート戦で先行する馬に乗ることが多く、この騎手のイメージも積極的な印象。揉まれるとダメなゴールドフィンガーという馬で、あっさり馬群に突っ込んでいったりするのを見ても基本的に前に行く競馬以外では信頼度が低い。

## 【2022年 騎手リーディング 101 位】

### 小崎 綾也

一言キャラ	あまりにも海外に行きすぎて日本にコネがない。自在タイプで素材は悪くない。
解説	戦法は自在タイプでニューモニュメントでの一連の騎乗などを見ても素材は悪くない。馬質が上がれば戦績も上がりそうだが、若い頃から海外遠征をしすぎたせいか日本でのコネがないのかも。これからいきなり馬質が上がるとも考えにくい。

## 【2022年 騎手リーディング 101 位】

### 宮崎 北斗

一言キャラ	もともと素質はありそうで買える騎手。向上心が低く騎乗機会が少ないだけ。
解説	ブログで体の動かし方などを発信している騎手で、それだけ研究熱心ということもあって騎手としての素質も悪くない。ただ、そのブログで今の現状に満足していて上を目指していない旨を書いたりしているように向上心が低いために騎乗機会が少ない。自在タイプだが2022年の12月は全てのレースで3番手以内の先行策。人気にならない騎手なのでよく穴を開ける。

## 【2022年 騎手リーディング 106 位】

### 太宰 啓介

一言キャラ	積極系から自在系にキャラ変化中。イメージよりは期待値は悪くない。
解説	今思い返せばフミノイマージンで結果を出せなかったのが騎手人生の転換点だったか。近年はマイナー騎手の位置付けになっており、ベテランにしては前に行く競馬を売りにしていた。2022年は前に行く確率も減ってきており、差して穴を出すことが多くなっている。勝利数こそ多くないが複勝率は悪くない感じで、乗れないイメージがある割に期待値は悪くない。

## 【2022年 騎手リーディング 106 位】

### 嶋田 純次

一言キャラ	2022年はスピードタイプの馬での積極策が目立つ。
解説	ミルファームの準主戦で馬主の所有馬のキャラがローカル平坦向きの馬が多いためにそういう馬に特化した乗り方になってきているか。もともとはふわっとソフトに乗って良いタイプだが、2022年はサウジアラビアRCのグラニットのような前々での積極的な騎乗が目立った。

## 【2022年 騎手リーディング 106 位】

### 城戸 義政

一言キャラ	スタート上手く前に行って良さが出る。
解説	武英智調教師のインタビューの中でスタートが上手い騎手で真っ先に名前が挙がっていた。そんなスタートの上手さを活かして先行する競馬でこそ良さが出る。

## 【2022年 騎手リーディング 106位】

### 伊藤 工真

一言キャラ	時折大穴を開ける爆弾騎手。基本はふわっとソフト系。
解説	デビュー当時から影が薄い騎手だったが、1年に1回ぐらいはとんでもない大穴を開ける。ロバートソッキーの騎乗などを見ても馬乗り技術が下手なことはなさそうで、基本的にはふわっとソフトに乗れるタイプ。

## 【2022年 騎手リーディング 106位】

### 木幡 初也

一言キャラ	竹内厩舎の専属騎手。自在タイプだが竹内厩舎の好不調がそのまま影響しそう。
解説	竹内厩舎の馬しかほとんど乗っておらず、この厩舎の馬質がそのまま結果に影響している感じ。2022年はシンリョクカという逸材を竹内厩舎が輩出したためにGIでも結果を出した。揉まれるとダメなコウユーママニニテで馬群に入れる競馬をしていたり、なかなか信頼できるタイプではない。

## 【2022年 騎手リーディング 106位】

### 荻野 琢真

一言キャラ	騎乗機会の減少とともに勝負勘も冴えていない。外を回すタイプ。
解説	本人はブログをやったりと向上心はありそうだが、近年は騎乗機会がほとんどなくなってきている。2012年12月のサンタクロースSのマジカルステージの騎乗を見ても、イン伸び馬場でも平気で外を回す。基本的には買える騎手ではない。

## 【2022年 騎手リーディング 113位】

### 中井 裕二

一言キャラ	パワーはあるが騎乗は雑。スケールを小さくした内田博幸。
解説	どのレースを見ても序盤からガシガシ馬を動かしている騎手で、ふんわり溜める騎乗が求められる芝では微妙。ダートで動かしてこそその馬に合う感じで、イメージとしてはスケールを小さくした内田博幸という感じか。

## 【2022年 騎手リーディング 113位】

### 柴田 善臣

一言キャラ	急かさず慌てず外に回す。騎乗技術はやはり一級品。
解説	もうベテランで成績などに欲はなく、目の前の一頭一頭に向き合って楽しく晩年の騎乗ライフを送っている印象。スタイルとしては後方から慌てず騒がずに外を回す差し競馬が信条で、もともとリーディングを争っていた騎手だけに騎乗技術は一級品。まだ重賞を勝ちそう。

## 【2022年 騎手リーディング 113位】

### 森 裕太郎

一言キャラ	隠れた名手も馬質の低さが致命的・・・
解説	デビュー当初から騎乗技術の高さが目立っており、マイナー騎手の中ではトップクラスの実力。ただ、営業能力が低いからか馬質がどんどん落ちていっており、最近は騎乗機会自体がほとんどない。許容範囲の位置を取りつつじわっと乗って名人芸のような差し込みを見せることが多い。

## 【2022年 騎手リーディング 120位】

### 大久保 友雅

一言キャラ	馬質が低いので良さが出ないが悪い騎手ではなさそう。
解説	初勝利は技術が問われる小回りコースで差し切り勝ち。新人騎手ながら逃げ先行だけではなさそう。悪い騎手ではないか。単純に馬質が低いだけという感じでこれから馬質が上がっていけば。

## 【2022年 騎手リーディング 120位】

### 武士沢 友治

一言キャラ	馬質の低さから割り切った待機騎乗を徹底。
解説	マルターズアポジーに関しては完全に例外。平場での馬質があまりにも低いせいで、そういう馬に少しでも賞金を稼ぐために待機追い込み策を徹底している感じ。基本的に勝負にならない位置で競馬をするので期待値は低く、前が完全に止まって追い込みが決まるレースで時に大穴を開ける。

## 【2022年 騎手リーディング 120位】

### 川又 賢治

一言キャラ	センスあって素質は高そうだが故障の影響が心配。
解説	もともとふわっと乗って末脚を引き出せる騎手だが近年は低迷。2022年は6月の落馬事故以降勝ち星がなく、故障の影響がある可能性も。

## 【2022年 騎手リーディング 120位】

### 鮫島 良太

一言キャラ	何も考えずに外を回す乗れない騎手の代表格。
解説	デビュー当時から全く成長がない印象で、特徴は単純に外を回す点。後ろでのんびり構えて外を回して差してくるので、騎手の技術で馬券圏内に持ってくることはほぼゼロ。外差し馬場バイアスに恵まれることはある。

## 【2022年 騎手リーディング 120位】

### 小牧 太

一言キャラ	追える職人肌、馬質低いが技術が極端に落ちたわけではない。
解説	もともと園田競馬で圧倒的な成績を誇っていた騎手で、JRA 移籍の先陣を切ったような人物。基本的な馬乗り技術や追える点は衰えていないが、近年は馬質が極端に落ちている分で結果が出ていない。チャンスある馬が回ってくれば結果は出せる。

## 【2022年 騎手リーディング 120位】

### 川島 信二

一言キャラ	近年は馬質が落ちた分で成績が落ちている感じ。
解説	数年前までは名前が聞くことも多かったが、ミエノサクシードやベルルミエールで重賞勝ちのチャンスを逃してから流れが変わった印象。近年は馬質が落ちてその分で成績が落ちています。

## 【2022年 騎手リーディング 131 位】

### 加藤 翔太

一言キャラ	素質はありそうだが伸び悩んでもう数年。
解説	デビュー直後は同期ナンバーワンの評価もあったが、どうにも向上心がないのかチャンスを逃したのかすっかり萎んでしまった感じ。騎乗技術はどうかだがふわっと乗れるセンスは感じる。

## 【2022年 騎手リーディング 131 位】

### 田中 健

一言キャラ	絶対に引かない先行クラッシャー。
解説	逃げると決めたら絶対に引かないクラッシャー先行タイプ。他に同型がいる時にこの騎手が先行馬に乗っている時は競りかけてハイペース必至。

## 【2022年 騎手リーディング 131 位】

### 原田 和真

一言キャラ	馬質低く後方からの着狙いばかり。
解説	2022年は全てのレースの中で逃げたのは1回のみ。そもそもスピードがあるタイプに乗れていない感じで馬質が絶望的に低い。プリンスリターンが乗り替わった途端に結果を出したのを見ても基本的な騎乗技術も低そう。

## 【2022年 騎手リーディング 131 位】

### 水沼 元輝

一言キャラ	イメージよりは追えてそれなりに乗れる。
解説	競馬学校を留年しており、デビューしてからも厩舎のバックアップを全く受けられなかったために低迷。ただ、あまりにも絶望的な馬質の割には頑張っている印象で、馬質が上がればそこそこやれそう。パワーがあって追える自在タイプに見えます。

## 【2022年 騎手リーディング 131 位】

### 川端 海翼

一言キャラ	新人らしい積極性が見えないが、それも馬質が低すぎるからか。
解説	浜田厩舎所属ということで厩舎のバックアップが全くなく、勝負になる馬にほとんど乗れていない。新人らしい積極的な競馬が見られないが、そもそも前に行けるスピードある馬に乗れていない感じも。

## 【2022年 騎手リーディング 131 位】

### 和田 翼

一言キャラ	以前より積極性は上がっているが馬質が低すぎる。
解説	ここ数年は逃げたり積極的な競馬が増えてきているが、そもそもの馬質が低すぎてあまり結果につながっていない。

## 【2022年 騎手リーディング 147 位】

### 岩部 純二

一言キャラ	馬質低く追えない自在型。
解説	イメージよりも前に行っていることが多く、差しに回ることが多いのは単純に馬質が低いからか。萱野厩舎の馬に乗ることが多く、よほど穴っぽい馬じゃないとなかなか信頼はできない。

## 【2022年 騎手リーディング 147 位】

### 木幡 育也

一言キャラ	とにかく逃げてナンボ。
解説	藤沢厩舎解散の影響で明らかに馬質が落ちている印象。藤沢厩舎所属時代から逃げてナンボの積極タイプで、基本的に前に行ってどこまでという馬でしか来ない。2022年の7月に交通事故に巻き込まれて重傷を負っており、かなりの怪我だったようなので後遺症が出ないか心配。

## 【2022年 騎手リーディング 147位】

### 土田 真翔

一言キャラ	チャンスを逃してしまったことで浮上のきっかけが見えない。
解説	それなりにチャンスがある馬はいたと思うが新人の年は未勝利。減量の恩恵がある新人騎手にしては前に行く機会が少なく、なかなかこれから浮上するきっかけもなさそう。